

■志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会役員体制

顧問	
1	小松幸勇〔元村山総合支庁長〕
2	小川一博〔西川町長〕
3	渡邊兵吾〔大江町長〕
4	大川健嗣〔東北文教大学人間科学部長〕
5	志田悌二郎〔実弟〕
アドバイザー	
1	阿部美佳〔脚本家・小説家〕
2	岡 雅史〔プロデューサー・俳優〕
3	上野境介〔映画制作会社(株)キャンター代表取締役〕
4	矢口正武〔NPO元気まちネット代表〕
5	佐野千晶〔 〃 理事〕
6	石井秀明〔山形新聞寒河江支社長〕
会長	
1	阿部幸一〔月山朝日観光協会会長〕
副会長	
1	佐藤耕二〔大井沢区長〕
2	秋場幸四郎〔町芸術文化協議会長〕
3	黒坂久一〔町商工会長〕
4	奥山妙子〔町婦人会長〕
5	工藤賢裕〔町公民館連絡協議会長〕
理事	
1	松田 徹〔庄内保健所長〕
2	池田こずえ〔山形女性医師ネットワーク会長、 篠田総合病院循環器科医長〕
3	室岡慶子〔元大井沢小学校教諭〕
4	小林 彰〔元大井沢小学校教諭〕
5	土居洋平〔東北文教大学准教授〕
6	武田詩子〔寒河江図書館長〕
7	木村辰男〔元まちづくり応援団関東ブロック 会長、NPO 保健科学総合研究会相談役〕
8	佐藤敏治〔作詞作曲家、ペンネーム世久遊〕
9	長登恵子〔町教育委員〕
10	奥山美佐〔町婦人会副会長〕
監事	
1	新宮 隆〔月山夢会議代表、町芸文協理事〕
2	佐藤伊佐子〔町婦人会副会長〕
事務局	
志田龍太郎〔大井沢区事務局〕後藤忠勝、生涯学習係員、月山朝日観光協会事務局職員	



志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会

会長 阿部幸一 (月山朝日観光協会会長)

ただ今、ご承認をいただきました月山朝日観光協会々長の阿部幸一と申します。微力ではありますが、大役をお引き受けさせていただきます。しかし、ご存知のとおり、このプロジェクトは、皆様のご協力なしには進めていけないプロジェクトです。この場をお借りし、ぜひ、皆様のご理解とご支援、ご協力をいただきますよう切にお願い申し上げます。

映画づくりは周子の生き方の意義を現代に問うこと

ご存知のとおり、志田先生は、無医村地域に貢献する女医という姿のみならず、婦人会々長や村議会議員、町議会議員、また、歌人として優れた短歌を残しており、多分野の最前線で活躍した女性でした。現代で言えば、優れた女性活動のパイオニアでした。一方で、一人の女性として、家族や恋愛、地域との関わり等の中で葛藤しながらも前向きに生きていくという、より人間的な姿をも見せています。その生き方の意義を現代に問うことは、大変価値のあることであり、西川町の資源・宝の発掘、再認識にも通じていくことであると思います。

周子の生き方は地域の宝
それを発信することが、すなわち地域づくり

東北大震災以降、日本の社会や人々の心の有りようが問われる現代において、志田

2/16設立総会での会長あいさつから

多くのおみなさんのご理解・ご支援 参加をお願いします。

先生の生涯自体が、地域の宝、町の宝、山形県の宝、ひいては現在の社会を照らす宝とできてきます。

また、混迷を深める社会の中で、地方の存続が問われている現在、地方から中央に向けて“地域の宝情報”を発信し、地方の活性化を図り、地方の存在感を強めていくことは大変有意義なことと考えています。

その想いの下に、志田周子先生の生涯を銀幕に甦らせようとするプロジェクトが、本日、この場に立ち上がったんだと改めて皆さんと確認させていただきたいと思えます。

映画プロジェクトは地域づくり・町おこし

この映画化プロジェクトは、観光施策としてはもちろんのことですが、地域づくり型、町おこし型プロジェクトです。制作費の問題も今後出てきますが、“鉄は熱いうちに打て”という言葉もあるように、へたに間を置かず、一気に情熱を高めて、元気な活動を展開し、具体的な形にすることが大切と思います。

成功への鍵は多くの皆さんとのネットワークが広がること。

そのためには、町内外を問わず、より多くの方々のご支援とご協力が欠かせません。本日の設立総会でもわかるように、そのネットワークが広がりつつある手応えを確かに感じつつあります。改めて、ぜひ、このプロジェクトが成功いたしますよう、この会場にいらっしゃる方々はもちろんのこと、より多くの方々にご参加いただきますようお願い申し上げます、会長就任のあいさつとさせていただきます。

設立総会に先立ち【第一部・志田周子に捧げる記念公演】①甦らせる会イメージソングの発表（作詞作曲…世久遊氏 歌…西谷知紗氏）②紙芝居上演（制作発表…山形市 船山明子氏）③語り劇（上演…女優 夢実子氏）を開催しました。

参加者には、改めて周子先生の偉業や生き様、そして町外の方々が寄せる熱い想いも感じ取れる機会となりました。



船山明子氏による志田周子紙芝居



夢実子氏の語り劇

作詞作曲家佐藤敏治氏提供のイメージソングを披露する西谷知紗氏

【第一部・映画化の可能性を追求する記念講話】では、①脚本家の阿部美佳氏から「周子に惚れました！こんな物語を書きます。」②プロデューサーで俳優の岡雅史氏から「この映画は地域づくり型にすべき」③映画制作会社(株)キャンター代表取締役の上野境介氏からは「こうやったら映画はできる」と題した講話を、またNPO元気まちネット代表の矢口正武氏からHPの紹介をいただきました。

「記念公演」や「記念講話」で、映画化は「夢は」実現できる、ことを確認